

9月・10月はDX推進指標の 集中実施期間です

DXに関する35問からなる自己診断と、他社比較ができる「ベンチマーク」を活用し、デジタル時代の競争力ある企業を目指す

DXとは



- デジタル時代において競争力ある企業になることを目指す。
- デジタル技術などのイノベーションを柔軟に取り込み、顧客や社会のニーズに迅速に対応できる企業になるよう変革していく。

DX推進指標



- DX推進指標は自己診断。項目に回答していくことでDX推進に向けた自社の課題や、次に実施すべきアクションがわかります。
- 経営・仕組みの観点19項目とITの観点16項目の全35項目。

DX推進に向けた課題とDX推進指標の活用イメージ

認識共有

わが社はDXできている？できてない？

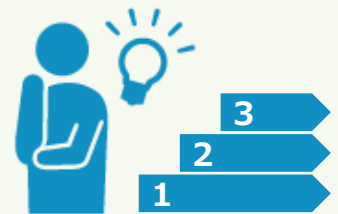
- ✓ DX推進指標に回答するために、経営者や事業部門、DX部門、IT部門などの関係者が集まって議論することで、関係者間での認識の共有を図り、今後の方向性の議論を活性化



アクション

DXの推進に向けて何をしたらよいの？

- ✓ 自社の現状や課題の認識を共有した上で、あるべき姿を目指すために次に何をすべきか、アクションについて議論し、実際のアクションにつなげる



進捗の把握

去年に比べてわが社のDXは進んだ？

- ✓ 毎年診断を行ってアクションの達成度合いを継続的に評価することにより、DXを推進する取組の経年変化を把握し、自社のDXの取組の進捗を管理する



自己診断結果の提出にご協力ください

10月31日
締め切り*1

提出企業にはベンチマークを提供（無償）

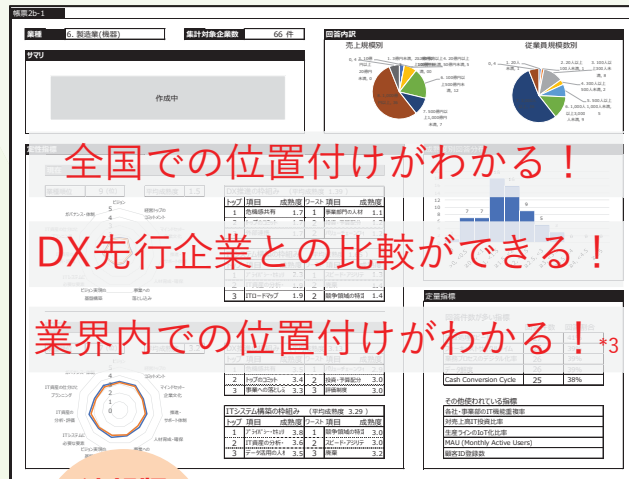
✓ 自己診断を実施し、診断結果をIPA*2に提出いただいた企業には、他の提出企業のDX取組状況と自社の取組状況を比較できる「ベンチマーク」を提供しています

自己診断結果入力サイト



IPA - DX推進指標 自己診断結果入力サイト
<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>

ベンチマーク



全体の傾向

全体概要 業種別

定性指標 売上規模別

 従業員数規模別

先行企業の特徴

概要 定性指標(現在)

 定性指標(目標)

業種・産業・売上別の特徴

概要 定性指標(現在)

 定性指標(目標)

速報版
11月中頃
提供予定

次年度の事業計画立案に活用

分析レポートの公表について

IPAにおいてDX推進指標の令和元年版分析レポートを公表しています。令和2年版は令和3年3月頃公表予定です。

IPA - DX推進指標 自己診断結果 分析レポート
<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20200528.html>

提出に協力いただいた企業の公表について

経済産業省・IPAのホームページ（URLは左記）において、令和元年中にDX推進指標を実施・提出いただいた企業名を「ベンチマーク・分析にご協力いただいた企業」として公表しております。*4（令和2年についても公表予定です）

DX推進指標について

DX推進指標の詳細についてはこちら
 経済産業省 - 産業界におけるデジタルトランスフォーメーションの推進
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/dx/dx.html

提出いただいた情報の取り扱いについて

個別企業の診断結果や報告に含まれる連絡先個人情報が外部公表されることはありません。

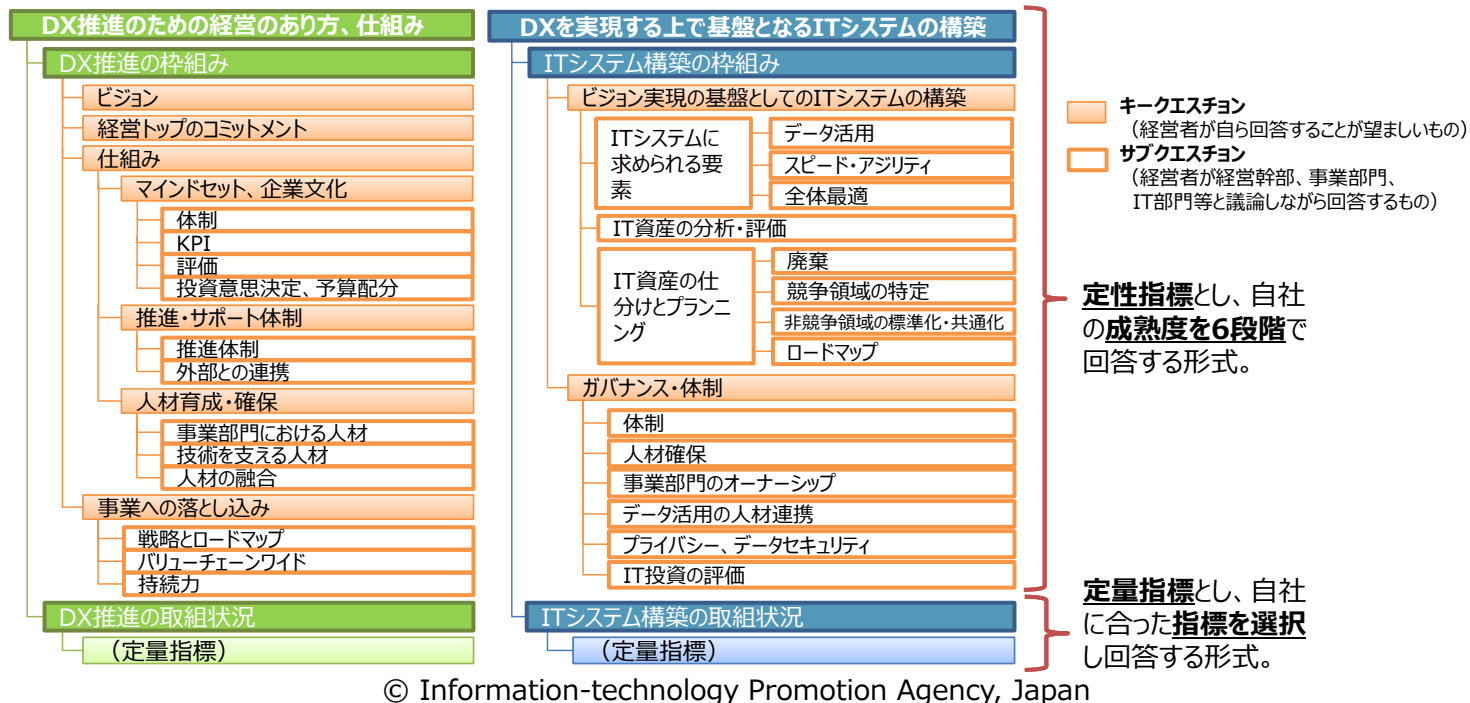
*1 速報版ベンチマークに向けた提出期限。10月31日以降も提出を受付ます。*2 DX推進指標の収集・分析は独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施しています。*3 業種・産業別分析は十分な数のデータが集まった業種・産業についてのみ提供しています。*4 非公開を希望する企業を除く。

本件に関するお問い合わせ先

『DX推進指標』とは

『DX推進指標とガイダンス』より

- 指標の項目として、多くの日本企業が直面しているDXを巡る課題を挙げている
- 経営者、事業部門、DX推進部門、情報システム部門などの**関係者が議論**しながら**自社の現状や課題**、とるべき**アクションについての認識を共有**し、関係者がベクトルを合わせて**アクションにつなげていくことを後押し**すべく、**気づきの機会を提供するためのツール**である



『DX推進指標』の利用方法とフィードバック

- 『DX推進指標』を活用して、**DX推進の取り組みサイクル**をまわす
- 『DX推進指標自己診断結果入力サイト』に**自己診断結果を提出**
- 診断結果を提出して頂いた企業に、企業全体、先行企業、**業種別**、**規模別**の『**ベンチマーク**』を提供するので、『**ベンチマーク**』を活用して、**次のアクションにつなげる**

DX推進の取り組みサイクル

a. 認識共有・啓発

経営者・関係者で現状と課題を共有、方向性を議論をする

c. 進捗管理

『DX推進指標』で、年1回、アクションでの達成度合い、DX推進の取組の変化を継続的に確認し、評価する

b. アクションにつなげる

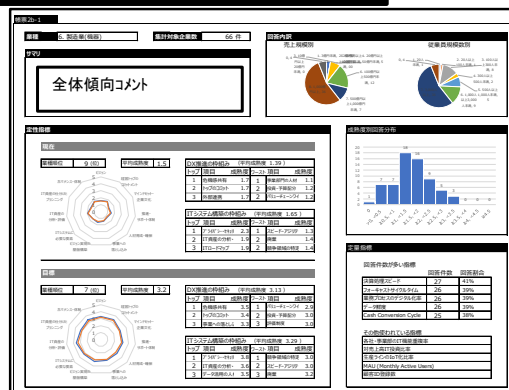
あるべき姿、アクションを議論し、アクションにつなげる

自己診断結果入力サイト

URL: <https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>

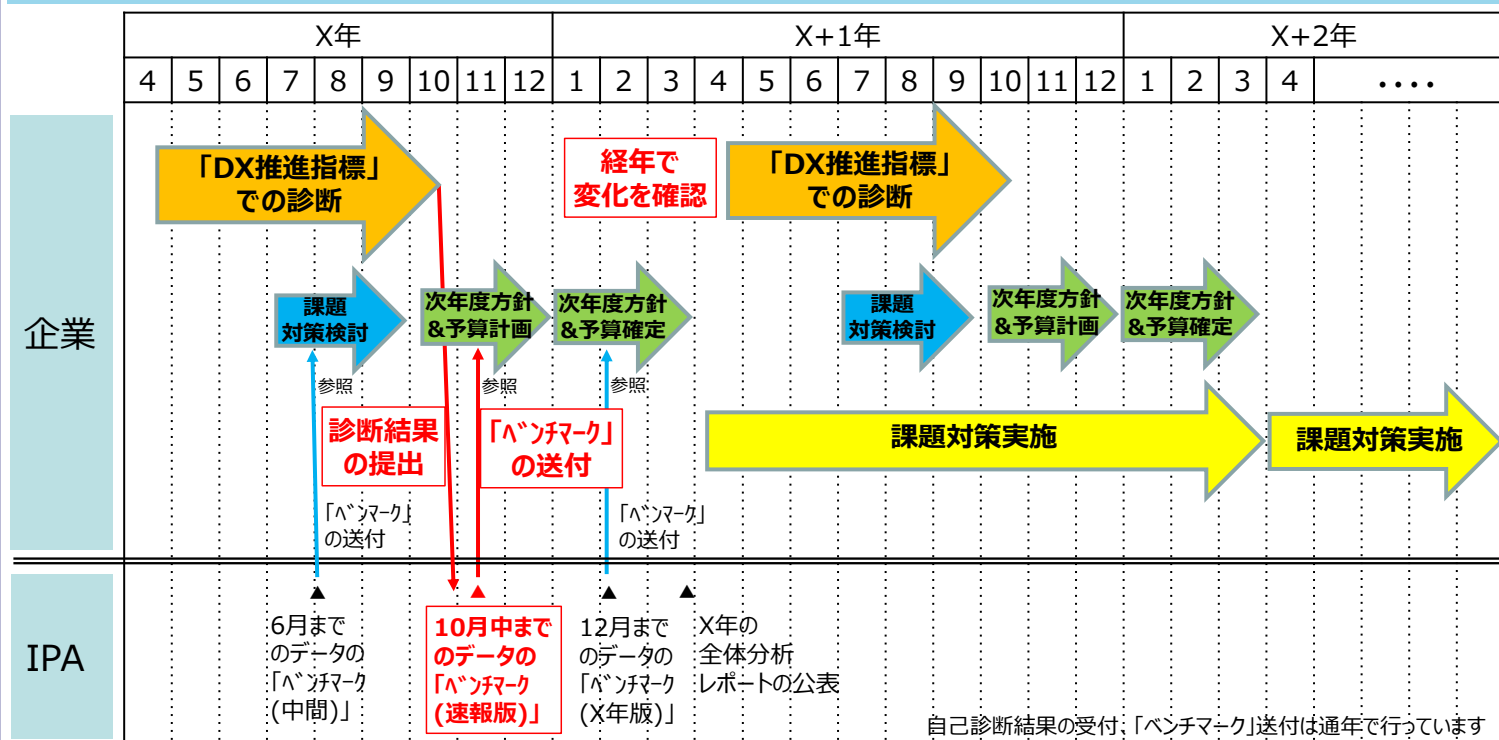


『ベンチマーク』のイメージ



『DX推進指標』での診断と活用の例

- 毎年、『DX推進指標』を活用して、継続的な状況の可視化、進捗状況を確認し、課題対策に役立てる
- 10月31日までに提出した企業に11月中に速報版『ベンチマーク』を送付予定



© Information-technology Promotion Agency, Japan

問合せ先と参考情報

○ 本資料や『DX推進指標』、『ベンチマーク』に関してのご質問、ご意見等がございましたら、以下のメールアドレス宛にご連絡をお願いします。

IPA 社会基盤センター DX推進指標担当
e-Mail: ikc-dxpi@ipa.go.jp

○ DX推進指標関連の情報サイト

- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について
https://www.ipa.go.jp/ikc/our_activities/dx.html
- ・DX推進指標自己診断結果入力サイト
<https://www.ipa.go.jp/ikc/info/dxpi.html>
- ・2019年のDX推進指標自己診断結果の分析レポート
<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20200528.html>

© Information-technology Promotion Agency, Japan